

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第3回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」
開 催 日 時	平成24年12月11日（火）午後7時00分～8時50分
開 催 場 所	中部地区会館403会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）石井一弘、石井友里菜、今北洸平、大谷亜由美、加園裕一、向後俊佑、原田裕一、八代理沙 欠席者：田太涼也 事務局：秘書広報課長、秘書広報課主査、秘書広報課主任
報 告 事 項	1 第2回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議録について 2 その他
議 題	議題1 テーマ研究 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 テーマ研究 全体的なテーマ・キーワードを「知る」ということとし、市内（市民にとって武蔵村山市は魅力があって住みやすい街であることを、さらに知ってもらうための研究）と市外（市外に対して、武蔵村山市の魅力を発信することの研究）という、2つの班を編制して、今後会議を進めていくことにする。 議題2 その他 今後の会議の日程については、第4回会議は1月8日（火）午後7時から、第5回会議は2月12日（火）午後7時から、第6回会議は3月12日（火）午後7時から開催することを確認した。なお、開催場所等については後日、事務局より各委員に連絡する。 第2回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」会議録の修正点等の確認をお願いし、修正点等があった場合は、事務局まで連絡していただく。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：リーダー ○印：委員 ●印：事務局	議題1 テーマ研究 ◎今回の会議の進め方ですが、まずそれぞれの方がどのように考えているのかを、もう少し知りたいと考えています。最初のスケジュールとは違いますが、どのような街にしたいか話し合いたい。 ○大学がある関係で、この会議に参加させていただいているが、武蔵村山市についてはあまり知らない。自分の住んでいる街は、観光をするところなど無くただの住宅街であるが、それでも自分は良いところと思っている。なぜなのかを考えることで前に進めると思う。まずは、交通網の充実が一番。 ○交通アクセスが悪いのはどうしようもない。モノレールの駅ができて立川市のようにはない。まずは、若い人が働ける場所を作らなければいけないと思う。商売をしている人にとっては、人どおりも少なく良い街ではない。住みやすいと思える街が一番。 ◎住みやすい街ということ。 ○働きやすい街。武蔵村山市役所の職員は、一番働く職員であると市長が言っていたように、さびれてはいるが工場地帯もあることだし、若者や東京経済大学の学生をどんどん受け入れるなどどうか。世の中、就職難でもあるので、理想としては市内で働くところを作っていければ。 ○私も短大卒業時に、市内で就職したかったが、持っている資格を活かして働く場所が無い。市内に住んでいる若者は、武蔵村山が好きだと思う。交通が不便なのは、当たり前と思っている。今さらモノレールが通

っても利用しないと思う。新しく来た人には不便なのかもしれないが。

- 住んでいる地区によって、考え方は違う。西の方の人は、箱根ヶ崎駅に行く。西南であれば、昭島駅、西武立川駅に自転車等で行ける。それでも、モノレールがあるかないかで、街の力が変わってくる。市民意識調査等でも関心が高い。モノレールが通るのを見越して、住んでいる人もいると思う。駅ができることによって、周辺の環境が変わり街の形態も変わってくる。人が多くなってくれば、商売等の形態も変わってくる。武蔵村山が変わるのが良いことかどうかは分からないが、変わっていくことを望んでいる方は多いようである。
- モノレールについては、あることに越したことは無いとは思う。外部から人が来やすくなるという面で。
- モノレールは、上北台から箱根ヶ崎までのものと思っている人が多いと思いますが、これは、最終的には多摩地区を循環するためのものです。ただ、時間がかかり必要となりますが。
- ◎魅力のあるものがあれば、外部から人が来ると思うがどういうものが良いと考えますか。
- 温泉があって、特産物（うどん）があるので、イベント等を行い市内を歩き、特産物を食べ温泉に入るなどができると良いと思う。インパクトとしては、薄いと思いますが。
- ◎何を求めて、市内にくるとおもいますか。
- 癒しかと。
- 近隣他市でも、自然を活かし人を呼ぶため、遊歩道等を整備していく動きがあります。
- 今の武蔵村山市を少しでも、良くできる様にこの会議に参加している。外部から人が来るには不便であると思う。人が集まれば、それだけ活性化していく。
- ◎皆さんは、人を武蔵村山市に招き入れたいと考えていると思いますが、23区のように、強烈に人を引きつけるものがあるところと張り合うのはどうかと思います。
- 23区とは、ジャンルが違うのではと思う。ファッションと自然など。一番は、広報活動があまり良くないところが問題。「情報館えのき」を見てみても、人がいない。運営自体にお金が掛かっているので、もう少し違うやり方があると思う。この会議自体も、私は図書館でたまたま見かけただけである。広報面の改善を考えてみるのも一つの方法かと。
- ◎この会議に参加したいと思った理由は。
- 今年大学に進学したが、授業では教授の言ったことをひたすらインプットするだけ。インプットした情報を活かし、アウトプットしていくことで自分の中が整理され、それを市に活かせればと考えております。
- ◎どのような市にすれば、住みたい街になるのか。
- 活気があるに越したことはない。私は、武蔵村山をあまり不便であるとは感じていない。イオンモールには人は集まっているので、「情報館えのき」でもっと市の広報活動ができれば、市に来てもらえると。
- イオンモールには以前、「三越」があった。一階のパン売り場で、市内のパン屋さんのパンを置いてくれていた。もっと、市と企業が手を組んで、横の繋がりを作っていければより良く変わっていくと思う。
- ◎武蔵村山市から発信していける物は何でしょうか。
- 特産物（うどん）は、毎日食べたいと思わない。毎日でも使いたい（食べたい）ものなどが良いのかと。市内に住んでいても、野山北公園を歩いたこともない。今の世の中、何を望んでいて何がうけるのかをリサーチした上で、展開していく必要がある。

- みなさんの話を聞いていて、何が問題であるのかが形になってきたと思います。まず、何を疑問とすればいいのかがはっきりしないと、人を呼ぼうにも呼べない。また、人に来てもらわなくても、こちらから出て行く方法もあると思います。アンテナショップのような形で。以前、都庁で23区の特産市のようなものを開催し、大盛況だったと聞いた。交通の便は、どうにもならない問題なので、都内にショップを出し Twitter や Facebook など情報発信していく。話は変わりますが、市内三ツ藤住宅を1日使って、自由に歩き回ってもらうなどお金を掛けずに面白いことはできると思う。市内に人を呼ぶ、市外に出て行き人を集める2つの方法があると思います。
- 市内に住んでいても、市内を知らないことも多いと思うので、市内を知ることによって新しい出会い（発見）等でてくると思います。
- ◎少子高齢化で人が少なくなってくる。景気もあまり期待できない。そこで、どこの市町村でも同じような形で外から人を迎え入れて活気付けて行きたいと考えていると思う。同じようなやり方で良いのか疑問。市民同士がもっと繋がりを持つことが、住みやすい街と感じられるようになるのではないかと。人と人との繋がりが魅力となれば。
- 市の中心は、どこなのかイメージできますか。真ん中は、イオンモールとなるようです。そこを核にできれば。街の中を動くには、やはり不便なので、レンタサイクルを常備するのがいいのかと。
- ◎外から来た人が、市内を巡るためのツールということになりますね。
- 市を知ってもらわないと話にならない。コミュニティタクシーのようなものを利用して良いと思います。
- レンタサイクルは、立川市高松町で導入しているようですが、それも参考にしてイオンモールでの広報活動ができれば、良い方法かと。
- ◎イオンモールに来た人に市の魅力を感じてもらえるような、動線を作っていくということですね。
- 欲を言えば、行き先となる場所までの間に何か楽しいもの等があると良いと思います。
- 正直なところ、わざわざイオンモールに来なくても買ってしまうものが多いので何があっても人は来ないかもしれない。
この会議で目指しているものは、市内の人が住みやすくすることなのか、市外の人から見て良い市にしたいのか、観光地のように人を集めたいのか良く分からない。そこを決めないと進んでいけないのでは。
- 大きなテーマを決め、2班になって進めていく上で、例えば市内向けの魅力ある街と市外向けの魅力ある街と分けても良い。最初は、たとえば福祉と観光等に分かれて行く等を考えていたが、1つのテーマで進めていく方法も良いと思います。
- ◎今まで話してきた内容を踏まえ、前回の会議でみなさんに書いていただいた付箋の内容をまとめてみましたのでご覧ください。
- 今日は、2班に分かれないのですか。ここまでの話で、外部向けに住みやすい街か内部向けに住みやすい街かとの話が出ているので、2つに分けて進めた方がやりやすくなっていくと思います。
- ◎手段と目的は必要となるので、自分達が進む方向性を決めるべきだと思います。2つの班の共通のもので。具体的なものではなくても、こういう市にするという自分達の目標が必要だと考えています。別の方法もあるのであれば出していただきたい。
- 市内向け、市外向けという柱で進めていくことで、大きな目的・目標というのは後からでも付けられると思います。
- テーマですが、市内の方向性は、「市民により深く武蔵村山を知っても

らう」ということにして、市外の方へは、「一から武蔵村山を知ってもらおう」にして、知ってもらおうということをキーワードにしてはどうでしょうか。例えば、市内向けだと、給食にかてうどんやお茶パンを出すことで、良さを知ってもらおう。市外向けであれば、アンテナショップで知ってもらおうという感じで。

- ◎知ってもらおうというのは、とても良いと思います。
- そのためには、この会議のメンバーがまず知る事が大事になると思います。私も村山大島紬ことを全く知らない。見たり触ったりしたことはありませんが。
- ◎とても大事なことで、資料や情報は至る所にあるものだと思います。情報共有のために、LINE やメーリングリストを作りたいと考えています。
- 知ってもらおうと考えたときに、古くから市内に住んでいる方々の話はとても大事になってくると思う。
- ◎そのとおりで、生の声を聞くと言うのは大切だと思います。ネット等で調べたものだけでは、知る事が出来ないものは多いと思います。若い人だけの感覚では、片寄りが出てしまう恐れがある。
- 進めていく中で、資料だとか古くから住んでいる方の話を聞きたいとなった場合等は、事務局に言っていただければ全面協力します。
- ◎自分達がまず知っていくことを前提に、市内（市民にとって武蔵村山市は魅力があって住みやすい街であることを、さらに、知ってもらうための研究）と市外（市外に対して、武蔵村山市の魅力を発信することの研究）の2班に分けて、次回以降の会議を進めていく方向でどうでしょうか。市内と市外のどちらをやっていきたいか聞いてみたいのですが。
- ◎リーダーが市内の担当班、サブリーダーが市外の担当班ということにします。
- ◎市内の班は、リーダー、石井さん、八代さん市外の班は、サブリーダー、今北さん、大谷さん、向後さんとします。加園さんと田太さんについては、意見を聞いた上で、どちらかの班に入ってもらおうと思います。
- ◎実際の話し合いは、次回以降、各班に分かれて行います。それまでに、準備しておいた方が良いもの等はありませんか。
- 各自が調べたり、知っておくべきものをあげてもらったり、資料などをいただけるとありがたい。
- ◎今すぐに、どれというのは言えないが、次回会議までに、メール等でお知らせしたいと考えています。
- 欠席の方がどちらの班に入るのか決まっていないので、次の会議時から知っていき、勉強していくということにかまわないのではないのでしょうか。
- ◎本日は、「知る」というテーマ・キーワードを決めたことと、市外・市内というグループ分けが出来たということで終了したいと考えています。

議題2 その他

- その他ということですが、次回会議の日程は、1月8日（火）午後7時からとなります。第5回・2月12日（火）、第6回・3月12日（火）と共に、後日、御連絡を差し上げます。また、前回の会議録については、目を通していただき修正点等がありましたら、事務局まで御連絡ください。

	－質疑・意見等なし－
--	------------

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []	傍聴者：_____ 0 人
-----------------	---	---------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：	_____）
	<input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：	_____）

庶務担当課	企画財務部 秘書広報課（内線： 3 1 4 ）
-------	-------------------------

（日本工業規格A列4番）